

「宮城県新広域道路交通ビジョン」「宮城県新広域道路交通計画」の策定について

背景・経緯

- 平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するために、「重要物流道路制度」が創設
- 社会情勢等の変化(人口減少社会・地方の過疎化、災害リスクへの対応、グローバル化、新技術の発展 など)

中長期的な観点での道路ネットワーク計画の再構築が必要

宮城県新広域道路交通ビジョン

宮城県及び仙台市の将来像

新・宮城の将来ビジョン

宮城県の交通分野における基本方向

- 富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進
- 誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり
- 強靱で自然と調和した県土づくり

仙台市基本計画

仙台市の交通分野における基本方向

- 公共交通を中心とした都市交通の充実
- 都心交通環境の再構築
- 多様な都市活動を支える交通政策の推進

広域的な交通の課題

- 高規格道路ネットワークのミッシングリンク
- 空港へのアクセス(仙台空港)
- 災害に強く多重性の高いネットワークの形成
- 物流ネットワーク(仙台塩釜港)
- 広域観光周遊を可能とする観光ルートの形成

- 物流における鉄道と道路の連携促進
- 防災拠点の機能強化

- 継続的に効率よく都市交通対策を図る仕組みと更なる技術革新
- 地域の交通弱者の暮らしを支える移動の実現

基本理念

強靱で災害に強く、富県宮城を支える広域的な道路交通ネットワークの構築

3つの基本方針

広域道路ネットワーク

- 富県宮城を支える拠点性の高い都市・交通拠点・交通ターミナルへのアクセス性向上
- 災害時におけるネットワークの代替機能強化

交通・防災拠点

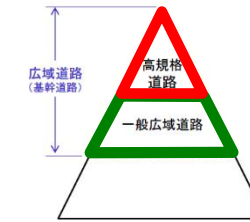
- ターミナル性の高い交通結節点の強化支援
- 広域防災拠点や防災道の駅との連携

ICT交通マネジメント

- ICT等を活用した道路の情報収集や活用
- 都市交通及び交通弱者対策へのビッグデータの活用
- スマートシティやMaaSの早期社会実装

宮城県新広域道路交通計画

広域道路ネットワーク計画

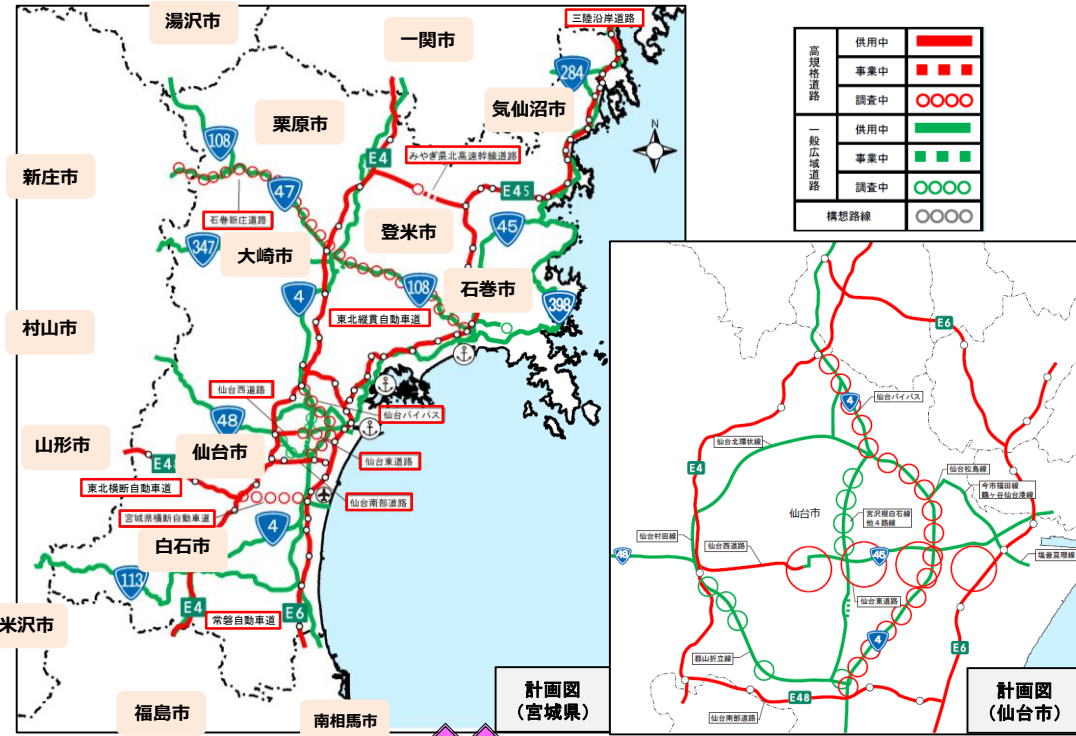


▲ 高規格道路 (サービス速度 V=60km/h以上)

- 高規格幹線道路 (東北縦貫自動車道など)
- 地域高規格道路 (みやぎ東北高速幹線道路など)
- ※ 地域高規格道路の候補路線については、必要性や代替機能を有する現道の有無を整理した上で選定

▲ 一般広域道路 (サービス速度 V=40km/h以上)

- 高規格道路と共にダブルネットワークを形成する路線 (直轄国道)
- 広域交通の拠点となる都市を連絡する道路 (仙台市, 山形市など)
- 重要な空港・港湾等を連絡する道路 (仙台空港, 仙台塩釜港など)



交通・防災拠点計画

- 仙台駅周辺の交通結節機能強化
- 広域防災拠点の整備
- 道路とBRTの連携施策
- 「防災道の駅」の選定に向けた調整

ICT交通マネジメント計画

- 宮城県渋滞対策連絡協議会の進化
- 仙台市泉区におけるスマートシティ事業
- ETC2.0プローブ情報を活用した交通安全対策
- 仙台 MaaS・仙台圏での観光型 MaaS